

第 3 回栗山町指定管理者選定委員会 会議録

開催日時	令和 2 年 9 月 1 8 日 (金) 1 8 : 2 2 ~ 1 9 : 2 6
場 所	栗山町役場
出 席 者	(選定委員) 古瀬委員長、藤井委員、大塚委員、小針委員、渡部委員、鈴木委員 (施設担当課) 建設課技術グループ 野原、 ブランド推進課企業・労働グループ 木戸 福祉課高齢者・介護・医療グループ 桑島、熊谷 (事務局) 橋場、金丸、橋本
会 議 内 容	
1. 開 会	橋場課長
2. 委員長挨拶	古瀬委員長
	(古瀬委員長により進行)
3. 協議事項	
(1) 募集要項 (案)、仕様書 (案)、基準管理費用積算について	
①栗山公園・夕張川河畔広場 (資料 1)	
	栗山公園・夕張川河畔広場の募集要項 (案)、仕様書 (案)、基準管理費用積算について、建設課技術グループ担当者より説明。
【質疑】	
(委 員) 資料 1 の②-3. 委託事業の取組みで、情報発信を SNS などで行っているとのことだが、SNS はどのようなもので、どのような方へ情報発信を行っているのか。	
(担当課) facebook でイベントなどの周知を行っている。	
(委 員) 栗山公園の現指定管理者は来場者数を非常に伸ばしており、指定管理者評価委員会でも非常に評価が高い。選定委員の皆さんにもその旨ご紹介しておきたい。	
(委 員) 動物の餌は買っているのか。	
(担当課) 草食動物の餌は、御大師山内の現在は展望台が設置された箇所が元々牧草地であったので、その牧草を与えていた。現在は、スキー場の舗装道路の縁に種をまいて牧草を育てており、それを餌としている。	
(委 員) 栗山公園における利用料金は、資料 1 の②-2. 有料施設の利用状況に記載されているもののみか。	
(担当課) その通りです。	

②勤労者福祉センター（資料2）

勤労者福祉センターの仕様書（案）、基準管理費用積算について、ブランド推進課企業・労働グループ担当者より説明。

【質疑】

（委員）ご担当者からの説明でもあったが、勤労者福祉センターの現指定管理者は職員の対応が非常に良いと指定管理者評価委員会でも非常に評価が高い施設となっている。老朽化が進んだ施設ではあるが、職員対応でカバーをしている印象を受けている。選定委員の皆さんにもご紹介しておきたい。

③いきいき交流プラザ（資料3）

いきいき交流プラザの仕様書（案）、基準管理費用積算について、福祉課高齢者・介護・医療グループ担当者より説明。

【質疑】

（委員）正式名称は「いきいき交流プラザ」だと思うが、「サンタの笑顔」や「サンタカフェ」などとも呼ばれている。どちらでも良いのか。

（担当課）呼び名はどちらでも構わない。カフェの名称として「サンタの笑顔」としている。

（委員）サークル活動やマーじゃんなどは、仕様書の平面図のどの部屋で行っているのか。

（担当課）談話室で行っている。

（委員）パソコンの使用はコロナウイルスの影響で休止しているとのことだが、使用できる場合はどこで行っているのか。

（担当課）シニアサロンで行っている。脳トレも同様にこのスペースで行っている。

（委員）資料3の③現状における課題点について、「自主事業として計画された趣味教室の参加者目標値と実績に大きな乖離が見られる」とあるが、どのくらいの乖離があったのか。また、それは指定管理者側の問題なのか。

（担当課）事業参加者数の計画数値自体は伸ばしているが、各年度の事業実施回数が1回の時もあれば2回の時もあるなどバラツキがあったため、それによって参加者数が非常に少ない時もあった。例えば子どもたちとの世代間交流事業については夏休みに実施するなど、参加者が参加しやすいスケジュール調整が必要だと考えている。

（委員）次期の選定時には、そういう課題を踏まえた事業計画などを細かく詰めるべきだと思う。

（担当課）今までは計画の目標値が人数のみだったため、実績として非常に低くなってしまったが、今後は事業の最低実施回数を設けるなど、計画の立て方については指定管理者側にお伝えする。

（委員）委託事業の世代間交流事業については、若い世代の方の利用を促すのは非常に難しさがあるのではと感じているが、担当課はどのように考えているか。

（担当課）事業の参加者数だけで見ると減となっている。介護者の人材不足が叫ばれている昨今、人材発掘、またボランティア活動の参加へのきっかけづくりとなるような行事・イベントを考えていかななくてはいけないと感じている。

（委員）介護学校の学生についてはそのような活動に参加すれば点数が加算されるようなアイデアも必要ではないかを感じる。このコロナ禍に負けず利用者数を増加させていくことが課題かなと思う。

(委員) 各資料の⑤に記載の基準管理費用については、これは上限額か。

(事務局) その通りです。

(委員) 消費税率が変動した時の対応は。

(事務局) 協定書に指定管理料の変更についての記載があり、新消費税率に変更対応をする。

(委員) コロナウイルスの影響で令和元年度の利用者実績が減少しているとのことだが、令和2年度の現在までの状況は。

(担当課) 8月末時点で1,801人(※4月1日から4月17日までは開館、4月18日から5月31日までは閉館。その後6月1日から現時点まで開館している。)。通常だと月平均で約750人の利用があるが、コロナウイルス対応による閉館で利用者数は激減している。

(委員) 新規の委託事業である「次世代ボランティア育成事業」について、どのような内容の事業なのか。

(担当課) カフェの体験ボランティアを通じて、世代間交流を促すことが目的。カフェの販売員を小学生に体験してもらうなどのイメージを持っている。実際のイベントの企画・立案はこれから行うこととなる。

(委員) 今現在行っているボランティアを体験してもらうという内容か。

(担当課) そのとおりです。

(委員) 担当課の方である程度事業実施のイメージを持っていないといけないと思うが。

(担当課) 実際にボランティア団体・老人クラブとのやり取りは社会福祉協議会で行っているが、役場としてお願いしたい内容と社会福祉協議会として実施したい内容とを踏まえて、連携を取りながら実施していきたい。

(委員) 「次世代ボランティア育成事業」の目的を今一度お聞かせ願いたい。

(担当課) 小中学生・高校生・介護福祉学校生を対象とした、カフェ職員などの体験ボランティアなどを予定している。カフェの体験ボランティアを通じて世代間交流を促し、若者世代の新規利用の促進と、次世代のボランティアを育成することが目的。

(委員) ボランティアを行う方の育成なのか、それともお手伝いを体験してもらうのか、目的をもって実施していただきたい。

(委員) 役場から指定管理者へ事業の丸投げではなく、しっかりと連携を図って事業実施をしていただきたい。

(委員) 介護人材の育成というのは大変なことだと思う。介護事業所とも連携・交流を図ることが人材育成・ボランティアにもつながるのではないかと思う。

※前回会議の資料修正箇所の説明。

第2回栗山町指定管理者選定委員会の会議資料2~4及びスポーツセンター仕様書の修正箇所について、事務局より説明。

【質疑】なし

4. 閉 会

(古瀬委員長) 以上で第3回選定委員会を終了させていただきます。大変ご苦勞様でした。